

名探偵

謎解きガイド

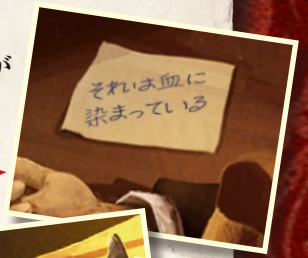
以下に記すのは「名探偵」の正答です。答えを知ってもいい場合のみ、読んでください。

PART1 【目的】役員室で凶器を探す

役員室内で、鑑識のサインが付いた12種類の凶器を見つけてください。これらは杖、文鎮、列車、灰皿、火かき棒、燭台、受話器、グラス、電話機(本体)、テーブルの上のランプ、箱、暖炉の上のランプです。

あなたは血痕の付いた殺人犯からの手紙(警告メモ)を持っています。そして、セオドア・ジョーンズが死に際に残した、走り書きのメモを彼の遺体の隣で見つけます。

「それは血に染まっている」よって、凶器の中で血の付いているものをチェックします。杖、文鎮、火かき棒、燭台、テーブルの上のランプに血のようなものを見つけることができます。



あなたは、鉄道地図の裏に書かれた同僚のメモを持っています。

メモでは、殺人現場の印象が説明され、遺体に火傷の跡があること、頭に深い傷が1つあることが書かれています。従って凶器は熱と関係があります。これは、2つのランプのいずれか、火かき棒、燭台、このうちのどれかが凶器ということになります。

床に落ちている燭台には赤い跡がありますが、これは赤いろうそくが溶けた跡で血ではないため、凶器ではありません。また、ランプを凶器として使った場合、壊れているはずなので、ランプは両方とも凶器にはなりません。



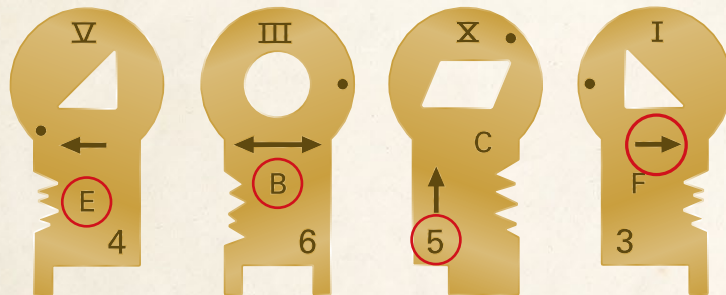
55分:同僚のメモと被害者の隣に落ちている紙を手掛かりに、犯行に使われた凶器を想像してください。被害者の顔の黒い部分は火傷でした。(Hint Card 1)

50分:赤いものは血だけではありません。顔に火傷を負うような凶器とは? 特定した凶器の鑑識サイン上の4つのコードを入力します。(Hint Card 2)



最後に残った火かき棒。先端に赤い斑点が付いていることと、遺体の状況(火傷の跡がある、頭に深い傷が1つある)を重ねて考えると、火かき棒が凶器だと断定できます。火かき棒の横にある鑑識サインの文字は“EB5→”です。このコードを入力します。

Code 1: EB5→



PART2 【目的】動機と犯人の“軌跡”を探る

殺人犯の動機と、彼がたどった軌跡を知るために、役員室を注意深く調べてください。それは、鉄道地図？ 役員室？ 鉄道橋や駅舎の図面？ 鏡に残された文字？

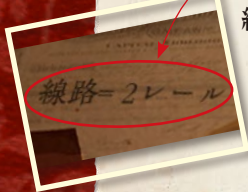
カーペットと床の上に文字のような形をした糸くずが落ちています。それらをつなげて読むと「スチルソル」——鉄化合物表に $C_{10}S_{10}Fe$ が見つかります。表のサンプルに沿って原子を数えると21個の原子があります($10 \times C + 10 \times S + 1 \times Fe = 21$)。鉄化合物表の裏には、レールの価格を得るために総原子数に50を掛ける必要があると書かれています。つまりレール価格は、 $21 \times 50 = 1,050$ ポンド/マイルです。



スチルスター	$C_9H_{12}NS_2Fe$	原子の数え方(サンプル)
スチルソー	$FeN_{10}S_2C_9$	$NaC_2H_3O_2$ の場合
スチルソル	$C_{10}S_{10}Fe$	ナトリウム (Na)
スチルブルーム	$C_{10}Br_{10}FeN$	炭素 (C)
		水素 (H)
		酸素 (O)
		鉄原子数

45分:床の糸くずを探して、鉄化合物を見つけます。(Hint Card 3)

注文書を見て、レールの発注区間を探り当てます。発注区間はロンドンから、「ノ」で始まり「ム」で終わる都市まで。該当する都市は「ノッティンガム」です。次にロンドン-ノッティンガム間の距離を、鉄道地図上にひもを当てて測定します。距離は100マイル(縮尺は鉄道地図の上側に記載)。線路は2本のレールで構成されるため、距離に2を掛けます。これは、転がった椅子の近くに落ちているメモ「線路 = 2レール」からわかります。つまり、注文書のレールの長さは $100 \times 2 = 200$ マイル。よって小計は $200 \times 1,050 = 210,000$ ポンド、総合計は $210,000 + 800,000 = 1,010,000$ ポンドです。



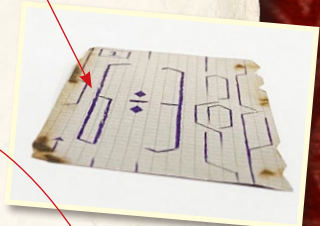
40分:ひもを使用して、ノッティンガムからロンドンまでの距離を測定します。椅子のそばのメモを忘れないでください。(Hint Card 4)

焦げた駅舎図面を数字の1が左上にくるように置き、角度をつけて見ると、数式「 $6 \div 3$ 」を発見できます。 $6 \div 3 = 2$ 。左上の数字1は、コードの1番目を意味します。コードの1番目は「2」です。

注文書	イギリス鉄道
区間	ロンドン - ノッティンガム
レールタイプ	標準レール
レール長さ	100 マイル
レール価格	1,050 ポンド/マイル
小計	210,000 ポンド
積仕値	800,000 ポンド
総合計	1,010,000 ポンド

30分:2つの数字を見つけるために、焦げた駅舎図面を違う角度から見てください。 __ ÷ __ = ? (Hint Card 5)

役員室の鏡の上にミラーカードを重ねて、文章の一部を覆います。見えている文字を読むと、「そう合計の最初の数じが最後に必要な数字」となります。「そう合計」とは、先に計算した注文書の総合計のこと。総合計 1,010,000ポンドの最初の数字は1。これが最後に必要な数字なので、コードの4番目は「1」です。



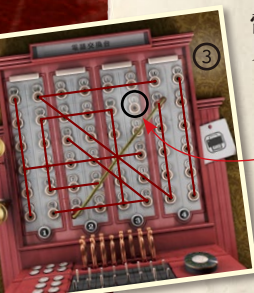
工事中の橋(グランドフェンウィック鉄道橋)の図面を見ると、橋げた部分にモールス信号が示されています。クロノデコーダーでモールス信号を解読すると、犯人の動機が FUKUSHU (復讐)だとわかります。動機が記されたのは左から2番目の橋脚。その橋脚には数字の5が書かれています。従って、コードの2番目は「5」です。



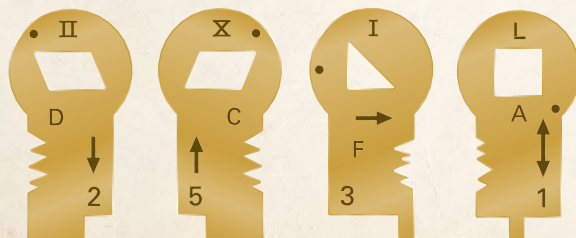
20分:鏡をフレームに置きます。

橋脚にある番号のうち、動機について言及しているものは? (Hint Card 6)

電話交換台の接続記録には、通話した互いの人物のイニシャルが記載されています。電話交換台で、イニシャルからイニシャルまで直線を引いて、これらの接続記録を再構築します。線がかからずに残った文字は数字の「3」。それは③の枠内にあります。従って、コードの3番目は「3」です。



Code 2: 2531



PART3 【目的】謎を解決するために殺人犯を特定します

殺人犯を特定するには、任意の順序で推理する必要があります。

1. 筆跡鑑定マニュアルを使用して、警告メモと役員室の鏡の手書き文字を分析します。そこから、殺人犯の性格は、我慢強い／熱心／強引／外交的／攻撃的と分析できます。各容疑者カードの裏面に書かれたストーリーを読むと、忍耐強い(マドック・マクウィン、ノラ・ラムスト)、熱心(マドック・フロート)、強引(ニール・リベット)、外向的(ニール・ローバー)、攻撃的(コリン・クロス)が分析結果に適合します。

2. 指紋を丁寧に確認すると、3カ所にモルス信号が見つかります。クロノデコーダーを使用して、モルス信号を解読します。指紋の上から順に「SHINCH」、「OURO」、「KUFEEET」——「身長6フィート」となり、これが殺人犯の身長です。従って、コリン・クロス、ダイアナ・オーウィング、ニール・リベット、ニール・ローバー、マドック・フロートが適合します。

3. 容疑者カードの中にはデータがそろっていないものが1枚あります。裏面には2冊の書籍名が記されていて、その書籍は役員室内でも見つかります。著者名はN.R.。著者が殺人犯だと仮定すれば、ニール・リベット、ニール・ローバー、ノラ・ラムストに可能性があります。

4. 機械設計案を緑／ピンクでそれぞれ絵柄がつながるように折りたたみます。緑の方には数字の「4」が、ピンクの方にはカタカナの「ト」が浮かび上がります。緑の方は「4」の後ろに「番目の文字」と文章が続いているので、「4」番目の文字が「ト」だと読み取れます。容疑者の名／姓で4文字目がトである人物を洗い出すと、ニール・リベット、ノラ・ラムスト、マドック・フロートが適合します。

これまでの1~4の検証結果を総合すると、殺人犯はニール・リベットです。ニール・リベットのストーリーには「彼は仕返しをすることを誓っていました」とあり、PART2で判明した動機=復讐にも合致します。

コードの前半部

ここでN.R.ことニール・リベットが執筆した書籍のタイトルに注目します。「前編:名推理 誕生日」となっています。つまり、ニール・リベットの誕生日がコードの前半部となり、5月6日——“56”が導き出されます。

コードの後半部

もう1冊のタイトルは「後編:名推理 身長」となっています。ニール・リベットの身長がコードの後半部となり、6フィート6インチ——“66”が正解です。

10分:コードの前半部は、犯人の誕生日。(Hint Card 7)

5分:コードの後半部は、犯人の身長。(Hint Card 8)

Code 3: 5666

